

# アシストスーツ用の部品供給

## 県内企業が技術紹介

浜松で講演会

物を運ぶ作業を補助するロボットアシスト機器を紹介する講演会「パワーアシストスーツAWN-03の挑戦」が二十九日、浜松市中央区のホテルクラウンパレス

浜松で開かれた。こうした機器を手掛けるアクティブリンク(奈良市)が昨年秋に発売した「AWN-03」の特徴や、部品に使われている静岡県内のメーカーの

技術などを紹介した。会場には約百人が集まり、モーター部分のギアなどを作る金型メーカーのキヤップ(森町)の高井三男社長が講演した。新素材の



①アシストスーツ「AWN-03」を装着し、物を持ち上げる参加者たち  
②マグネシウム製フレームを作る榊葉鉄工所の榊葉社長(右)とCFRTPのギアを手がけるキヤップの高井社長(いずれも浜松市中区)で

炭素繊維強化熱可塑性プラスチック(CFRTP)を使い、「アルミニウムと同じ強度を持ちながら重さは二分の一」と紹介した。

榊葉鉄工所(掛川市)はマグネシウムを使ってフレームを作った。榊葉貴博社長は「マグネシウムは実用金属の中で最も軽い一方、加工時に出る粉は燃えやすく注意を要する。工場では掃除を徹底し、マグネシウム専用の消火器も備えている」と説明した。

同社は、浜松地域イノベーション推進機構が主催する「マグネシウム事業化研究会」に参加し、他の中小企業とともに加工法を習得してきた。「材料調達から表面処理まで、浜松地域でマグネシウムを加工できる企業のネットワークができ、今回のフレームの量産も可能になった」と語った。AWN-03は体に装着し

て使い、物を持ち上げるときに腰部分のモーターが動いて補助する。物流や農業、工場などの作業で役立つ、バッテリーを含む重さは七・四キ。軽量化のため県内企業の部品が採用された。アクティブリンクはパナソニックや三井物産などが出資して二〇〇三年に設立した。(西山輝一)